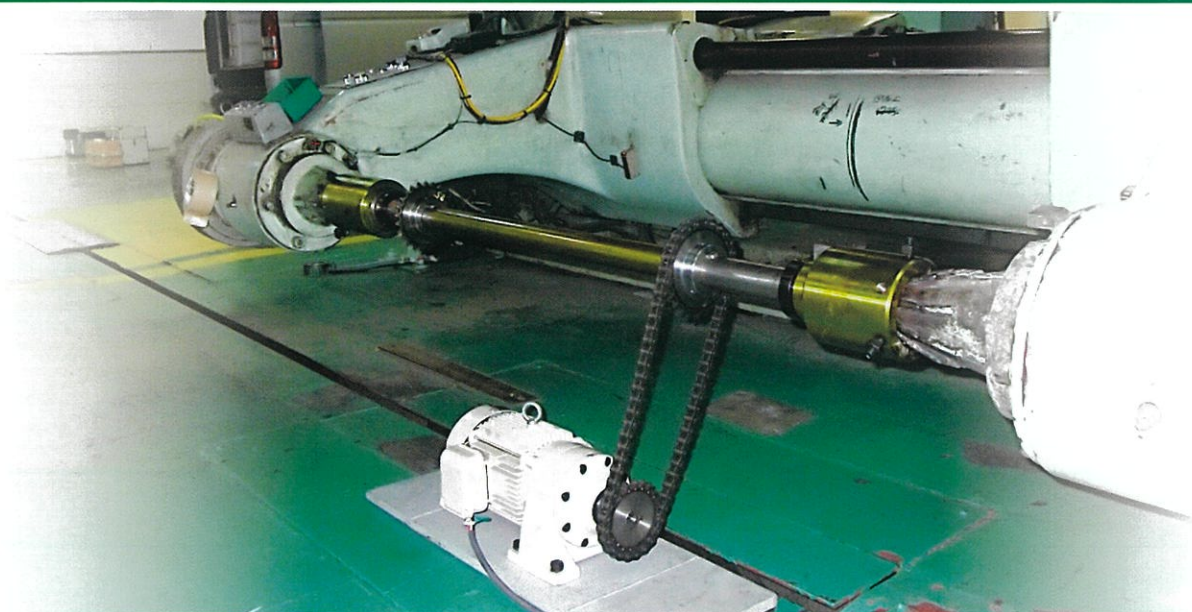


# パウダーブレーキ 簡易診断システム



## 現状のパウダーブレーキに関する問題点

- 劣化時の明確な交換の判断基準がない。
- 消耗品であるが、周期的な交換サイクルが決まっていない。

ヤノテックのパウダーブレーキ簡易診断システムを使うと…

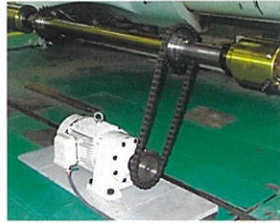


## 当システムの効果

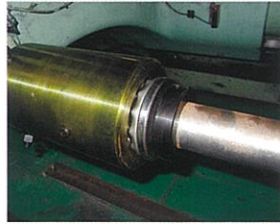
- 交換時期を見極める事により、パウダーブレーキに起因する**ロス率を低減**できる。
- ブレーキ装置の劣化具合を、電流値・トルク値により数値化する事で、**現状の性能を個別に把握**できる。
- オーバーホールを実施することで、新品を購入するよりも**費用を低減**できる。

## パウダーブレーキ簡易診断システムの手順

1 電圧でブレーキの強弱を制御するパウダーブレーキ装置に、弊社専用治具をミルロールスタンドに取り付けます。



2 個別で測定するため、非測定側に駆動が伝わらないようにします。



3 回転させたまま、パウダーブレーキ装置に段階的に各電圧をかけて、表示されるモーターの電流値を測定します。



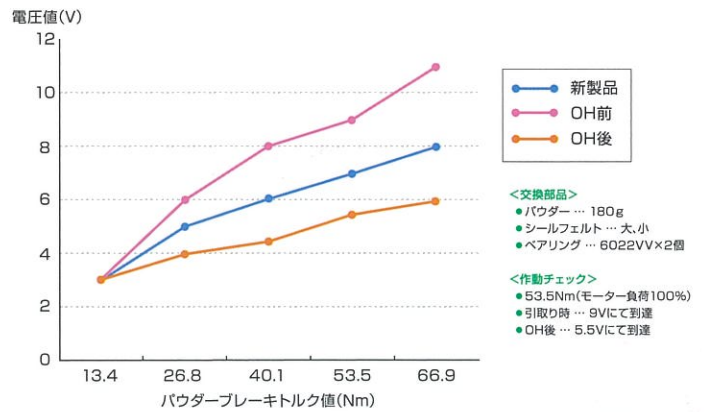
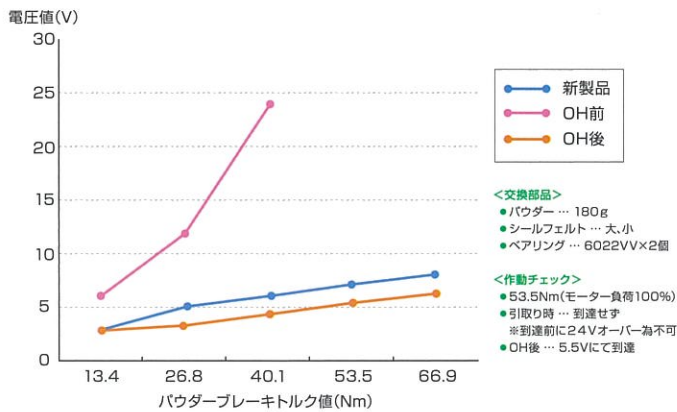
4 反対側のパウダーブレーキを測定するときは、治具を反転させます。



5 新品状態のブレーキ装置を基準に、モーターとパウダーブレーキのトルク値の数値により劣化具合を比較し判断します。

最適なタイミングで  
新品交換やオーバーホールを  
検討することができます。

## 測定例



## ヤノテックのオーバーホールはココが違う!

1 オーバーホール後、報告書を作成します。



2 シリアルナンバーを刻印することで、修理履歴を管理できます。

パウダーブレーキ(PH4B-20)オーバーホール実績表

台数	機種	製造年	修理内容	修理日	修理場所	修理担当者
1	PH4B-20	2010	オーバーホール	2011.10.10	ヤノテック	田中
2	PH4B-20	2011	オーバーホール	2012.05.15	ヤノテック	田中
3	PH4B-20	2012	オーバーホール	2013.01.20	ヤノテック	田中
4	PH4B-20	2013	オーバーホール	2014.03.10	ヤノテック	田中
5	PH4B-20	2014	オーバーホール	2015.02.25	ヤノテック	田中
6	PH4B-20	2015	オーバーホール	2016.04.15	ヤノテック	田中
7	PH4B-20	2016	オーバーホール	2017.06.05	ヤノテック	田中
8	PH4B-20	2017	オーバーホール	2018.08.20	ヤノテック	田中
9	PH4B-20	2018	オーバーホール	2019.10.10	ヤノテック	田中
10	PH4B-20	2019	オーバーホール	2020.12.05	ヤノテック	田中

3 オーバーホール前後の電流値を測定し、どのくらい復元しているか数値にて確認します。

